

いとう純一市政だより

いとう純一事務所
〒232-0044
横浜市南区榎町2-51
TEL045-315-3115
FAX045-315-3175
Emai itou@bell.ocn.ne.jp
発行日 2019年2月5日

新年度予算案審議へ

まっとうな政治を市民と共に

横浜市会第1回定例会は1月28日に開会しました。3月19日までの日程です。主な議案は「新年度予算案」で、提案された予算案は「さらなる発展に向けて躍動する年」を基調として、一般会計では1兆7615億円で前年度に比べて2%増となっています。

昨年を振り返りますと、地震や台風など数々の自然災害があり、ブロック塀対策や崖地対策やなど緊急の取り組みがありました。新年度予算では、防災・減災対策の充実に向けた更なる取り組みの強化が求められています。更には、高齢社会に向けては、医療や介護の総合的な対策として、地域包括ケアシステムの充実が喫緊の課題です。また経済の活性化、少子化対策の強化など

も重要な施策と言えます。

さて重要な課題として、いわゆるIR、カジノ問題があります。横浜市は現在「白紙」との立場ですが、昨年には参入を検討する事業者向けの説明会を開催しています。私もパネラーとして参加した昨年10月のシンポジウムでは「多重債務の背景にギャンブルが大きく関わっていること」「ギャンブル依存症がいかに生活と健康をむしばむこと」等の報告がありました。カジノ誘致は「百害あって一利なし」です。横浜にカジノを作らせないため、いとう純一は全力を尽くします。

また格差社会が進行する中、「子どもの貧困の連鎖」を断ち切ることも重要な課題です。教育費の無償化に向け



た施策の充実も「待ったなし」です。保育所の新設などで待機児童を解消すること、いじめや不登校対策に向けた体制整備を行うこと、

また中学校給食の実現なども大切な課題です。いとう純一は、誰もが安心して住み続けられる横浜をめざして、頑張っまいます。

第3回シンポジウム

「地域公共交通を考える夕べ」

日時 2月25日(月)18:00~
場所 地域労働文化会館2Fホール
主催 横浜地方自治研究センター
パネラー 江崎孝参議院議員(立憲民主党)
いとう純一市会議員(立憲民主党)

なんでも法律相談(無料)

専門の弁護士が対応いたします。

お気軽に、いとう純一事務所まで
ご連絡ください。

TEL045-315-3115
FAX045-315-3175

立憲民主党2区総支部(南・西・港南)の総支部長に岡本英子(元衆議院議員)さんが決定!!

まっとうな政治を！！

第198回国会開会される

第198回国会は、1月28日から6月26日までの日程で開催されています。

立憲民主党・枝野代表は、昨年の国会を振り返り「公文書の改ざん、国会でのいい加減なデータの報告、そして十分な審議もしないまま中身が空っぽの法案を採決する。様々な場面で、強圧的で一方的な政治がどんどん加速をした年であった」と、安倍政権を批判しました。また消費税についても、立憲民主党は「格差社会の拡大」「低所得者の増大」の中で、消費税を引き上げる状況ではないと考えています。

そして枝野代表は、こうした政治を変えることができるのは主権者、有権者の皆さんの力しかありません。今年は春に統一地方選挙、夏に参議院選挙が行われます。立憲民主党は、草の根からの声をしっかりと政治に届けていくために、その地方自治を担う議会に同じ思いを持った仲間を増やす「ボトムアップの春」を実現し、そして今の強圧的で、そして国民の声を無視した政治を変えてまっとうな民主主義を取り戻す、そんな「立憲の夏」を実現するため全力で頑張るとつよく訴えました。

郎飴のような社会では、独創的なアイデアが生まれにくく、また生まれかけてもつぶされる危険が大きくなる。違いを認め合い少数の立場や意見を大切にすることこそ、独創的な新たな付加価値が生まれ、経済の活力を生み出せる」などと訴えました。そして、まとめに当たっては、「立憲民主党は、一昨年の10月の結党の原点を忘れることなく、草の根からの民主主義という、これまでの政党とは違う新しいチャレンジを進めていく。多くの国民の皆さんの草の根の声に寄り添いながら、具体的な

政策提言と行政監視を進めていく」と表明。「政治を動かし、時代を切り開くのは、政党でも政治家でもありません。主権者の皆さん。皆さん一人ひとりです。まっとうな政治を取り戻し、『多様性を認め合い、お互い様に支え合う』社会を作るのは、主権者の皆さん、あなたです。あなたにはその力があります。私も全力で、『右でも左でもなく前に』進みます。でも『私にはあなたの力が必要です。』一緒に、時代に合致した新しい社会を築いていきましょう」と国民の皆さんに呼びかけました。

立憲民主党枝野代表は訴えます

衆院本会議で1月30日、安倍内閣の施政方針演説に対する代表質問が行われ、枝野幸男代表が登壇しました。(1)毎月勤労統計調査不正問題(2)辺野古基地建設問題(3)エネルギー・原子力政策(4)消費税率引き上げ(5)幼児教育無償化(6)防衛大綱・防衛予算(7)外交関係 について取り上げ、安倍総理らの見解をただしました。枝野代表は冒頭、「立憲民主党は、結党以来訴えている『多様性を認め合い、お互いに支

え合う』という新しい社会像を、さらに明確に掲げ、次の時代の扉を開きます」と宣言。立憲民主党の目指す社会について、「教育を含む子育てや老後、障がい者や失業対策など、社会全体で困った時に寄り添い、お互い様に支え合うための仕組みを強化する。『支え合いの社会こそが、これまでの競争社会に代わって、次の時代に社会と経済の活力を生み出す』との考えを明確に示し、新しい選択肢となる」「同調圧力の強い金太



立憲民主党神奈川県連 総決起集会

2月25日(月) 19:00 ~ ワークピア